

様式第2 (第9条関係)

# 政務活動費成果報告書

令和5年 12 月4日

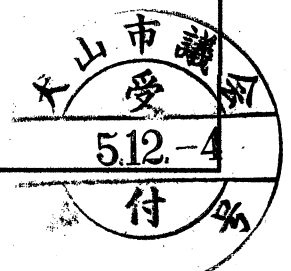
犬山市議会

議長 柴田 浩行 様

議員名 鈴木 伸太郎

下記のとおり、展示会の成果を報告いたします。

(1) 年月日	令和5年 11月 9日(木) ~ 11月 10日(金)
(2) 場所	朱鷺メッセ (新潟市)
(3) 形態	会派 ( ) : その他 ( 鈴木のみ )
(4) 内容	別紙
(5) 成果・提言	別紙



出張報告 令和5年11月9日(木)～11月10日(金)

展示会「にいがた6次化フェア」 新潟市 朱鷺メッセ

犬山市議会で農業に本格的に携わっているただ一人の議員として、犬山の農業を良い方向に引っ張っていかねばいけない自負を持っている。とはいえ、零細な兼業農家主体の現状では、将来を明るく描くビジョンがあるとは思えない。行政も今までは農業にあまり注力してこなかった事情もあり、さまざまな面で諦観が漂っている。それを打破するためのヒントを求めて新潟市で開催された展示会を訪問した。

新潟市は言わずと知れた米どころ、犬山市も農業の主要作物は米。犬山市内の米の6次化では一つの企業が頑張っているが、ほとんどすべての兼業農家は従前のままであり、新潟での米6次化の取り組みを規模縮小して犬山で展開できれば、新しいきっかけづくりになると考えていたが、残念ながら米の6次化事例はあまり出ていなかった。山形の団体が地域協議会的な組織を立ち上げ、地場産米から餅の製造販売に取り組んでいたのは、自分が今後実現していこうと考えていたことと合致、進むべきベクトルの方向は間違っていないと確信。餅は米農家が6次化するにはよい素材、蒸す搗く伸ばす切る詰めるの設備投資はざっと5000千円ほどか？ 地域で生産組合などを作れば、ハードルは意外と低い気がする。

その他、米の加工品は少なかった。本場だけに、逆に各社情報を漏らさないのか？ 米以外では、6次化を進めている地場産品はいくつかあったが、目新しいものは特になし。さつまいも、小麦、緑黄色野菜など、犬山でも生産されている産品が主体。ポイントは見せ方売り方だと感じた。これはいつの時代でも同じであり、その時々ニーズやファッションをつかめられるかどうかの話。犬山の食品産業はその点においてはまだまだ「待ち」のスタイルで、外へ出て勝負するまではあまり行っていないのが課題と感じる。それは逆説的に言えばチャンスともとらえることができる。まだまだこれからチャレンジすれば道が開ける可能性大である。

以前から、ハードル低く参入が容易ではと感じているのがドライフルーツ。今回もドライ製造機器メーカーがいくつか出展しており、情報収集。犬山で言えば、みかん、桃、ブドウ、柿などの果樹は付加価値を高めることが可能、先述の餅よりもコストも低く開始できる。6次化も容易であり、生産者の意欲次第で可能性があると感じる。

セミナーをいくつか受講、流通向けが多かったが、その中で、INNOVA 社の話は参考になった。小さな農業者が6次化を推進していく過程で通るのは、不完全な状態での商品販売。原材料、産地、製法、パッケージなど、商品の完成までまだ課題があるが、その点を逆にポジティブに考え、不完全の理由をしっかりと述べることで顧客から共感を得、販売につなげる手法。具体的に欧米の事例を紹介していただき勉強になった。これは市内農業者の6次化に利用できる。

その他、大豆ミートなど代替食品の情勢、不安定な食糧供給の時代の持続可能性とコスト両立、必要な栄養を手頃な価格での提供、若い世代の声、近未来的農業のスタイル、食品とデジタルの融合、コロナ後などに見られたリベンジ消費の考え方、健康志向など、海外の最新の動向を交えいろいろ学ぶことができた。犬山でも活用できそうな事例がいくつかあり、関係者と連携して進めていきたい。

展示会以外の時間帯、夜と早朝、新潟のまちを散策した。レンタサイクルが2社あり、私は165円/30分の会社を選択してみた。信濃川沿いは市民の憩いの場、観光の場として整備されていた。犬山では木曾川河畔の整備が取りざたされているが、住と遊びが分離されているという点で信濃川は参考になるかもしれない。新潟市街は観光スポットが散在しており、レンタサイクルは有用だった。犬山では、犬山城周辺、成田山、継鹿尾、栗栖、入鹿池周辺、尾張富士、大縣神社、青塚古墳、市外になるが小牧山や岩崎城、貞照寺や鶴沼宿など、電動アシスト型のレンタサイクルで面的な観光施策を打ち出せる予感がした。自転車を運転する際の交通事情は良くはないが、同じくレンタサイクルがある鎌倉市よりは条件は整っていると考える。

以上



# フードメッセinにいがた2023

2023年11月8日(水)～10日(金) 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」

開催概要	フードメッセとは	出展のご案内	出展者一覧	セミナーのご案内	6次化フェアのご案内	よくある質問	お問い合わせ	English

## 第10回

# にいがた6次化フェア2023

## 全国の6次化に取り組む事業者のための展示・商談会！

- 6次産業化および農商工連携に取り組む事業者が出展対象となります。
- 1次産業は地域の資源と捉え、企業連携による商品開発、市場展開を目指す出展者が集う研鑽の場です。
- 小ロットでも個性ある商品、付加価値商品に関心の高いバイヤーとの商談が活発に行われます。



### 開催概要

- 名称 ● 第10回「にいがた6次化フェア2023」
- 主催 ● フードメッセinにいがた運営会議・新潟市
- 主管 ● (株)日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会
- 出展規模 ● 25事業者 (限定)
- 会期 ● 2023年11月8日(水)～11月10日(金)  
10:00～17:00 (最終日は16:00まで)
- 会場 ● 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」
- 同時開催 ● 第15回「フードメッセinにいがた2023」  
特別企画「にいがたお米未来展2023」

11/10  
セミナー 397  
申込(未)

### にいがた6次化フェアの特徴